

平成29年9月6日付【日本下水道新聞】
 <技術研究発表会>
 新知見15編発表、官民連携で講演も

協 水コン

技術研究
発表会

官民連携で講演も

新知見15編発表

全国上下水道コンサル
 タント協会（野村喜一会
 長）は8月4日、渋谷区内
 で第27回技術研究発表会
 を開催し、150人を超
 える聴講者が訪れる中、
 15編の研究発表が行われ
 たほか、国土交通省水管
 理・国土保全局下水道部
 下水道企画課の清瀬一浩
 管理企画指導室長による
 特別講演も行われた。

技術研究発表では、N
 JS東部支社の七村由貴
 江氏による「遠方監視制
 御設備情報ネットワーク
 の再構築について」と、
 東京設計事務所東京支社
 の尾浪正晴氏による「D
 BO方式による広域汚泥
 処理事業」が同票を獲得
 したため、最優秀賞に選
 ばれた。また、日本コン
 下水道事業部の安藤哲也



清瀬室長

氏による「老朽化と地震
 による被害想定を一体的
 に考慮したストックマネ
 シメントの評価手法に関
 する一事例」が優秀賞を
 受賞した。
 清瀬室長は「下水道経
 営における課題とPPP
 /PFIの取組状況につ
 いて」と題し登壇、下水
 道事業の現状と課題を詳

説した後、課題解決のた
 めPPP/PFIを推進
 していると述べ、処理場
 包括委託と管路包括委託
 に関する解説を行ったほ
 か、コンセッションにつ
 いても事例を交えつつ説
 明した。また、国交省の
 取組みや新下水道ビジョ
 ン加速戦略、今年度の業
 務予定も紹介した。